

# 平成20年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について

平成21年6月5日  
千葉県環境生活部大気保全課  
水質保全課

平成20年度に千葉県、国土交通省、千葉市、船橋市、柏市及び18市が県内の一般大気環境、公共用水域、地下水及び土壌におけるダイオキシン類濃度を調査測定した結果について、ダイオキシン類対策特別措置法第27条第3項の規定により公表します。

概要は次のとおりであり、一般大気環境、公共用水域、地下水及び土壌のすべての地点で環境基準を下回っていました。

## 1 一般大気環境

81地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

測定地点数	年間平均値最大	年間平均値最小	全地点平均値	環境基準(年間平均値)
81	0.13	0.012	0.056	0.6

## 2 公共用水域

### (1) 水質

95地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/L

測定地点数	年間平均値最大	年間平均値最小	全地点平均値	環境基準(年間平均値)
95	1.0	0.028	0.26	1

### (2) 底質

46地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/g

測定地点数	最大	最小	全地点平均値	環境基準
46	100	0.11	8.6	150

## 3 地下水

26地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/L

測定地点数	最大	最小	全地点平均値	環境基準(年間平均値)
26	0.21	0.046	0.062	1

## 4 土壌

47地点について調査した結果、いずれの地点も環境基準を下回っていた。

単位：pg-TEQ/g

測定地点数	最大	最小	全地点平均値	環境基準
47	18	0.035	3.1	1000

内容についての照会先

- 一般大気環境調査結果〔1〕……………大気保全課 電話 043-223-3805
- 公共用水域・地下水・土壌環境調査結果〔2・3・4〕……水質保全課 電話 043-223-3814

[参考1]

## 平成20年度ダイオキシン類に係る常時監視結果コメント

常時監視を開始した平成12年度以降の経年変化と本年度の状況は次のとおりである。

### 1 一般大気環境について

平成12年度の全地点平均値は0.22pg-TEQ/m<sup>3</sup>であり、年々減少傾向にあつて平成20年度は0.056 pg-TEQ/m<sup>3</sup>である。

なお、平成18年度以降、環境基準を超過した地点はない。

### 2 公共用水域について

#### (1) 水質

平成12年度以降の全地点平均値の経年変化は、改善傾向にある。

なお、下手賀沼中央（柏市）は、平成15～19年度にかけて、環境基準を超過していたが、20年度は環境基準を下回った。

#### (2) 底質

平成12年度以降の全地点平均値の経年変化は、概ね横ばいで推移している。

なお、平成15年度以降、環境基準を超過した地点はない。

### 3 地下水

平成12年度以降、環境基準を超過した地点はなく、環境基準と比べても低い数値で推移している。

### 4 土壌

平成12年度以降、環境基準を超過した地点はなく、環境基準と比べても低い数値で推移している。

[参考2]

1 ダイオキシン類とは、

ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン（PCDD）とポリ塩化ジベンゾフラン（PCDF）、コプラナーPCBを加えた約220種類の有機塩素化合物を総称して、ダイオキシン類といいます。

(1) 主な発生源

廃棄物の焼却等の過程で非意図的に生成されます。

(2) 健康への影響

分解しにくい性質を持つことから、生物の体内に蓄積しやすく、発ガン性、催奇形性、免疫機能の低下などの毒性を有するといわれています。

2 pg（ピコグラム）とは、

1兆分の1グラムを表す単位です。

例えば、1pg-TEQ/m<sup>3</sup>は、大気1立方メートル中に毒性等量に換算して1兆分の1グラムのダイオキシン類が含まれていることを表しています。

3 TEQ（毒性等量）とは、

ダイオキシン類は、各異性体によって毒性が異なるため、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシンの毒性に換算して表したものです。

4 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視結果の公表

ダイオキシン類対策特別措置法では、知事が県の区域におけるダイオキシン類による汚染の状況を常時監視し、結果を公表するとされていますが、政令市（地方自治法の指定都市・中核市）については、市長が当該事務を行うとされています。

今回の公表は、県並びに政令市である千葉市、船橋市及び柏市のほか、国土交通省、県内自治体が調査したものを取りまとめ県全体の状況として公表するものです。

なお、政令市3市についても、それぞれ公表が行われます。

# 1 平成20年度ダイオキシン類に係る一般大気環境調査結果について

## (1) 調査方法

### ア. 調査地点及び調査実施主体

県内81地点において、県及びダイオキシン類対策特別措置法に基づく政令市の千葉市、船橋市及び柏市並びに18市がそれぞれ実施した。

(別図1のとおり)

### イ. 調査期間

7日間連続で四季(4回)又は夏冬(2回)に試料を採取した。

春季 平成20年 5月 8日～ 5月15日

(※ 市川市高谷 5月15日～5月22日;落雷による停電のため、調査期間を変更)

夏季 平成20年 7月24日～ 7月31日

(※ 市川市富浜 8月 5日～8月12日;測定局舎工事のため、調査期間を変更)

秋季 平成20年10月16日～10月23日

冬季 平成21年 1月21日～ 1月28日

### ウ. 測定分析方法

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」(環境省 平成13年8月[平成20年3月改訂])に基づき実施した。

## (2) 調査結果

ダイオキシン類を測定した81地点における年間平均値は、0.012 pg-TEQ/m<sup>3</sup>(鴨川市清澄)～0.13 pg-TEQ/m<sup>3</sup>(四街道市千代田)の範囲にあり、全地点において環境基準(年間平均値0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup>)を下回った。(別表1のとおり)

なお、全地点の平均値は0.056 pg-TEQ/m<sup>3</sup>で、平成19年度と比較し、わずかに減少しており、平成12年度の測定開始以来、年々減少傾向にある。

年度別全地点平均値の経年変化

pg-TEQ/m<sup>3</sup>

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20
全地点平均値	0.22	0.23	0.15	0.11	0.099	0.073	0.071	0.064	0.056

\*ダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視は、平成12年度から実施。

## (3) 今後の調査計画

平成21年度も引き続き「平成21年度千葉県ダイオキシン類常時監視計画」に基づき、県及びダイオキシン類対策特別措置法に基づく政令市の千葉市、船橋市及び柏市並びに18市と協力して調査を実施する。(78地点)

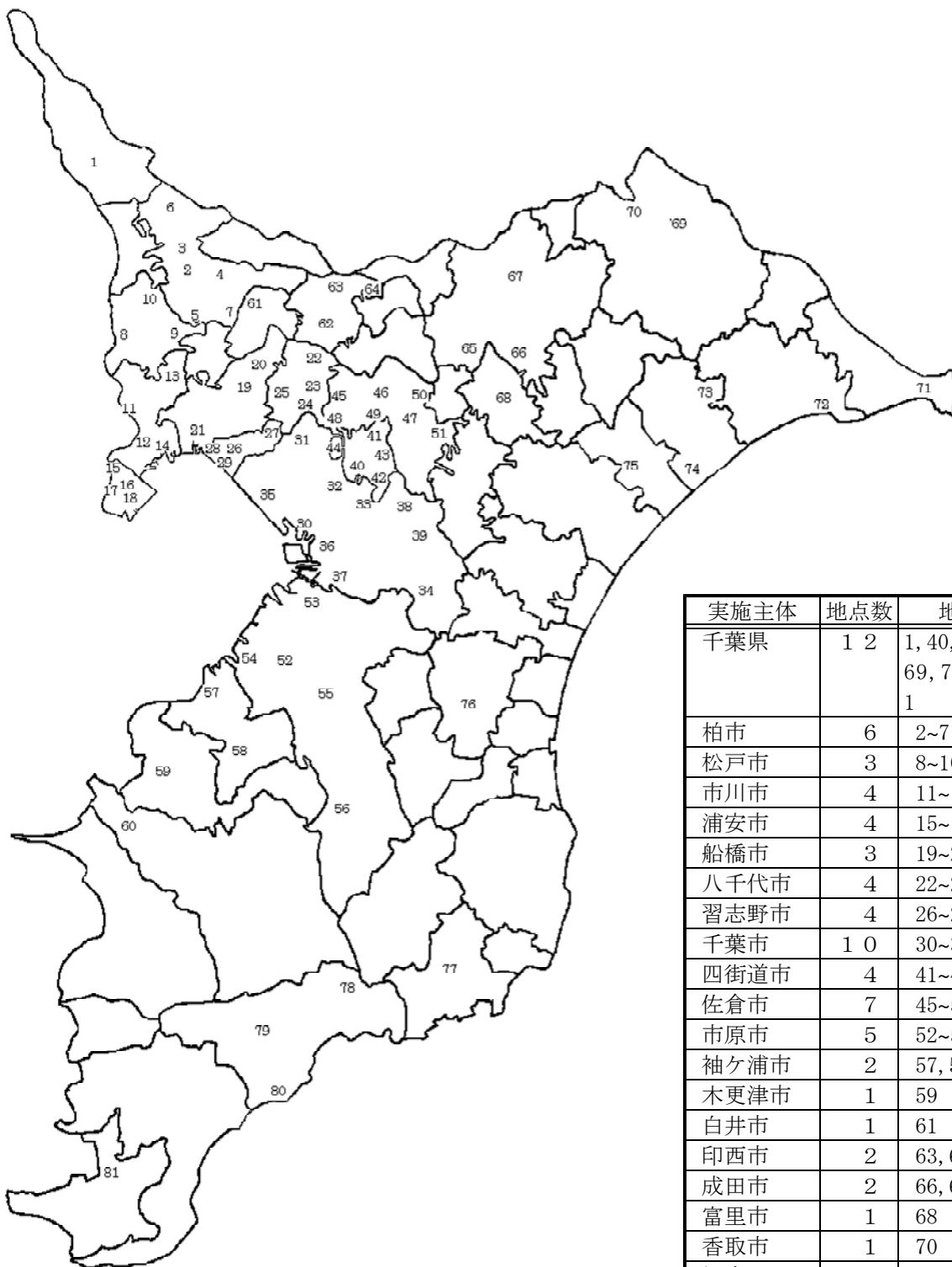
また、ダイオキシン類の排出抑制対策として今後とも法に基づき事業所指導を継続して実施する。

別表1 平成20年度ダイオキシン類に係る一般大気環境調査結果

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

地点No.	調査地点	年間 平均値	環境基準 適否	調査時期 ・回数	実施主体	地点No.	調査地点	年間 平均値	環境基準 適否	調査時期 ・回数	実施主体
1	野田市野田	0.059	適	夏冬2回	千葉県	43	四街道市みそら	0.057	適	四季4回	四街道市
2	柏市永楽台	0.047	適	四季4回	柏市	44	四街道市鹿放ヶ丘	0.11	適	四季4回	
3	柏市旭町	0.049	適	四季4回		45	佐倉市井野	0.051	適	夏冬2回	佐倉市
4	柏市大津ヶ丘	0.064	適	四季4回		46	佐倉市江原新田	0.092	適	夏冬2回	
5	柏市しいの木台	0.071	適	四季4回		47	佐倉市城	0.075	適	夏冬2回	
6	柏市大室	0.053	適	四季4回		48	佐倉市上志津	0.060	適	夏冬2回	
7	柏市藤ヶ谷	0.064	適	四季4回		49	佐倉市吉見	0.084	適	夏冬2回	
8	松戸市根本	0.075	適	四季4回	松戸市	50	佐倉市将門町	0.092	適	夏冬2回	
9	松戸市五香西	0.056	適	四季4回		51	佐倉市直弥	0.087	適	夏冬2回	
10	松戸市二ツ木	0.052	適	四季4回		52	市原市廿五里	0.050	適	四季4回	市原市
11	市川市新田	0.050	適	四季4回	市川市	53	市原市八幡	0.059	適	四季4回	
12	市川市富浜	0.048	適	四季4回		54	市原市姉崎	0.038	適	四季4回	
13	市川市大野町	0.091	適	四季4回		55	市原市松崎	0.035	適	四季4回	
14	市川市高谷	0.068	適	四季4回		56	市原市平野	0.029	適	四季4回	
15	浦安市当代島	0.053	適	四季4回	浦安市	57	袖ヶ浦市長浦	0.098	適	四季4回	袖ヶ浦市
16	浦安市猫実	0.057	適	四季4回		58	袖ヶ浦市横田	0.034	適	四季4回	
17	浦安市富士見	0.052	適	四季4回		59	木更津市中央	0.046	適	夏冬2回	木更津市
18	浦安市今川	0.051	適	四季4回		60	君津市久保	0.035	適	夏冬2回	千葉県
19	船橋市高根台	0.045	適	四季4回	船橋市	61	白井市中	0.080	適	夏冬2回	白井市
20	船橋市金堀町	0.048	適	四季4回		62	印西市高花	0.056	適	夏冬2回	千葉県
21	船橋市南本町	0.063	適	四季4回		63	印西市大森	0.054	適	夏冬2回	印西市
22	八千代市米本	0.079	適	夏冬2回	八千代市	64	印西市小林	0.053	適	夏冬2回	
23	八千代市村上	0.079	適	夏冬2回		65	成田市加良部	0.045	適	夏冬2回	千葉県
24	八千代市勝田台	0.055	適	夏冬2回		66	成田市大清水	0.040	適	夏冬2回	成田市
25	八千代市高津	0.055	適	夏冬2回		67	成田市幡谷	0.044	適	夏冬2回	
26	習志野市鷺沼台	0.050	適	夏冬2回	習志野市	68	富里市七栄	0.062	適	夏冬2回	富里市
27	習志野市東習志野	0.056	適	夏冬2回		69	香取市大倉	0.037	適	夏冬2回	千葉県
28	習志野市谷津	0.057	適	夏冬2回		70	香取市佐原口	0.046	適	夏冬2回	香取市
29	習志野市秋津	0.052	適	夏冬2回		71	銚子市唐子	0.028	適	夏冬2回	千葉県
30	千葉市中央区千葉港	0.058	適	夏冬2回	千葉市	72	旭市萩園	0.013	適	夏冬2回	旭市
31	千葉市花見川区花見川	0.056	適	夏冬2回		73	匝瑳市椿	0.096	適	四季4回	匝瑳市
32	千葉市稲毛区山王町	0.059	適	夏冬2回		74	匝瑳市今泉	0.039	適	四季4回	
33	千葉市若葉区千城台北	0.043	適	夏冬2回		75	横芝光町横芝	0.047	適	夏冬2回	千葉県
34	千葉市緑区平川町	0.034	適	夏冬2回		76	茂原市高師	0.033	適	夏冬2回	千葉県
35	千葉市美浜区真砂	0.046	適	夏冬2回		77	勝浦市小羽戸	0.013	適	夏冬2回	千葉県
36	千葉市中央区今井	0.056	適	夏冬2回		78	鴨川市清澄	0.012	適	夏冬2回	千葉県
37	千葉市中央区南生実町	0.064	適	夏冬2回		79	鴨川市成川	0.040	適	夏冬2回	鴨川市
38	千葉市若葉区谷当町	0.041	適	夏冬2回		80	鴨川市東江見	0.017	適	夏冬2回	
39	千葉市若葉区野呂町	0.042	適	夏冬2回		81	館山市亀ヶ原	0.057	適	夏冬2回	千葉県
40	四街道市鹿渡	0.048	適	夏冬2回	千葉県	平均		0.056			
41	四街道市千代田	0.13	適	四季4回	四街道市						
42	四街道市和田	0.076	適	四季4回							

別図1 ダイオキシン類一般大気環境調査地点図  
(平成20年度)



実施主体	地点数	地点番号
千葉県	1 2	1, 40, 60, 62, 65, 69, 71, 75~78, 81
柏市	6	2~7
松戸市	3	8~10
市川市	4	11~14
浦安市	4	15~18
船橋市	3	19~21
八千代市	4	22~25
習志野市	4	26~29
千葉市	1 0	30~39
四街道市	4	41~44
佐倉市	7	45~51
市原市	5	52~56
袖ヶ浦市	2	57, 58
木更津市	1	59
白井市	1	61
印西市	2	63, 64
成田市	2	66, 67
富里市	1	68
香取市	1	70
旭市	1	72
匝瑳市	2	73, 74
鴨川市	2	79, 80
県及び21市	8 1	

## 2 平成20年度ダイオキシン類に係る公共用水域（水質・底質）調査結果について

### (1) 調査方法

#### ア. 調査地点及び調査実施主体

##### (ア) 公共用水域(水質)

県内95地点において県、国土交通省、千葉市、船橋市及び柏市並びに市川市、木更津市、松戸市、成田市、佐倉市、旭市、市原市及び袖ヶ浦市が実施した。

(別図2のとおり)

(50河川：72地点、4湖沼：10地点、4海域：13地点)

##### (イ) 公共用水域(底質)

県内46地点において県、国土交通省、千葉市、船橋市及び柏市並びに市川市、松戸市、佐倉市、市原市及び袖ヶ浦市が実施した。

(別図2のとおり)

(25河川：32地点、4湖沼：4地点、2海域：10地点)

#### イ. 調査期間と調査日数

水質：平成20年 5月 7日～平成21年 1月21日（年1回～2回）

底質：平成20年 5月 9日～平成20年10月14日（年1回）

#### ウ. 測定分析方法

水質：JIS K 0312 に準拠した。

底質：「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」（平成12年3月 環境庁水質保全局水質管理課）に準拠した。

### (2) 調査結果

#### ア. 水質

95地点の濃度は0.028～1.0pg-TEQ/Lの範囲にあり全地点で環境基準(1pg-TEQ/L)を下回った。(別表2のとおり)

なお、95地点の平均値は0.26pg-TEQ/Lであり、17年度0.35 pg-TEQ/L、18年度0.21 pg-TEQ/L、19年度0.31pg-TEQ/Lと比べ大きな変化は見られなかった。

#### イ. 底質

46地点の濃度は0.11～100pg-TEQ/gの範囲にあり、全地点で環境基準(150pg-TEQ/g)を下回った。(別表2のとおり)

なお、46地点の平均値は8.6pg-TEQ/gであり、17年度6.6pg-TEQ/g、18年度8.1pg-TEQ/g、19年度4.9pg-TEQ/gと比べ大きな変化はなかった。

### (3) 今後の調査計画

平成20年度に引き続き、「平成21年度千葉県ダイオキシン類常時監視計画」に基づき、水質（61河川等97地点）及び底質（33河川等41地点）を国及び市と協力して実施する。

別表2 平成20年度ダイオキシン類に係る公共用水域（水質・底質）調査結果

(1)河川

単位：水質（pg-TEQ/L）、底質（pg-TEQ/g）

	水域名	調査地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号
江戸川	江戸川	江戸川水門	0.10	10	年1回	国土交通省	7
江戸川流入河川	坂川	弁天橋	0.32	3.2	年2回	松戸市及び県	12
	新坂川	さかね橋	0.29	0.45	年2回		14
	国分川	須和田橋	0.11	1.9	年2回	県	17
	真間川	根本水門	0.29	—	年2回		19
		三戸前橋	0.10	17	年2回	市川市及び県	20
利根川	利根川	水郷大橋（佐原）	0.19	0.51	年1回	国土交通省	27
		河口堰	0.13	0.60	年1回		28
		銚子大橋	0.097	5.2	年1回		29
手賀沼流入河川	亀成川	亀成橋	0.32	—	年2回	県	30
	金山落	名内橋	0.61	4.3	年2回		31
	染井入落	染井新橋	0.22	39	年2回	柏市	32
	大津川	上沼橋	0.19	1.7	年2回		33
	大堀川	北柏橋	0.12	1.8	年2回		34
印旛沼流入河川	鹿島川	岩富橋	0.73	0.25	年2回	佐倉市及び県	36
		鹿島橋	0.25	0.29	年1回	佐倉市	37
		下泉橋	0.12	0.95	年2回	千葉市	501
	高崎川	竜灯橋	0.27	0.65	年1回	佐倉市	38
	手繰川	無名橋	0.31	2.4	年2回	佐倉市及び県	39
	師戸川	師戸橋	0.49	—	年2回	県	40
	神崎川	神崎橋	0.26	—	年2回		41
	桑納川	桑納橋	0.18	—	年2回		42
印旛放水路(上流)	八千代橋	0.16	15	年2回	43		
長門川	長門橋	0.41	—	年2回			44
根木名川	根木名川	根木名橋	0.15	—	年2回		46
		新川水門	0.28	—	年2回	成田市	47
派川根木名川	根木名川橋	0.23	—	年2回	県	48	
大須賀川	大須賀川	関橋	0.32	—		年2回	49
		黄金橋	0.23	7.0		年2回	50
与田浦川	与田浦橋	0.42	—	年2回		52	
小野川	小野川水門	0.38	—	年2回		53	
黒部川	黒部川	迎田橋	0.48	—		年2回	54
		中央大橋	0.24	—		年2回	55
		黒部川水門	0.27	0.74		年2回	56
清水川	清水川	山川橋	0.51	—		年2回	57
		清水橋	0.43	—		年2回	58
忍川	富川地先	0.60	—	年2回	59		
高田川	白石取水場	0.45	—	年2回	60		



	水域名	調査地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号
九十九里海域流入河川	新川	干潟大橋	0.30	—	年2回	旭市及び県	62
		駒込堰	0.47	0.23	年2回		63
	栗山川	新井橋	1.0	—	年1回		64
		栗嶋橋	0.42	—	年2回		65
		木戸大橋	0.72	—	年2回		66
	高谷川	与平橋	0.44	—	年2回		67
	木戸川	木戸橋	0.26	—	年2回		69
	作田川	龍宮大橋	0.66	0.34	年2回		70
		真亀橋	0.48	—	年2回		72
	南白亀川	観音堂橋	0.56	—	年2回		73
	一宮川	昭和橋	0.28	—	年2回		74
		中之橋	0.38	—	年2回		76
南房総海域流入河川	夷隅川	三口橋	0.13	—	年1回	77	
		江東橋	0.42	—	年2回	80	
	三原川	小向浄水場取水口	0.13	—	年1回	87	
東京湾内房流入河川	汐入川	東田橋	0.19	—	年2回	92	
		要橋	0.21	—	年2回	93	
	平久里川	平成橋	0.27	—	年2回	95	
	湊川	東郷橋	0.053	—	年1回	98	
	染川	川向橋	0.13	—	年2回	102	
東京湾内湾流入河川	小糸川	八千代橋	0.31	—	年1回	104	
		人見橋	0.21	—	年2回	105	
	矢那川	富士見橋	0.11	—	年2回	107	
	小櫃川	小櫃橋	0.19	0.15	年2回	袖ヶ浦市	110
		椿橋	0.12	—	年2回	木更津市	111
	養老川	持田崎橋	0.028	0.12	年1回	市原市	113
		浅井橋	0.14	0.11	年1回		114
		養老大橋	0.23	0.16	年1回		115
	村田川	新村田橋	0.14	0.23	年1回	118	
		高本谷橋	0.13	1.2	年2回	千葉市	502
	都川	都橋	0.080	1.6	年2回		119
	葭川	日本橋	0.077	1.6	年2回		120
	印旛放水路(下流)	新花見川橋	0.15	8.3	年2回		121
海老川	八千代橋	0.15	1.9	年1回	船橋市	122	
	河川平均値		0.29	4.0			
	50水域	72地点	72地点	32地点			

## (2)湖沼

単位：水質 (pg-TEQ/L)、底質 (pg-TEQ/g)

	水域名	調査地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号
印旛沼	印旛沼	阿宗橋	0.17	—	年2回	県	1
		上水道取水口下	0.41	—	年2回		2
		一本松下	0.45	—	年2回		3
		北印旛沼中央	0.49	15	年2回		4
手賀沼	手賀沼	手賀沼中央	0.37	22	年2回	柏市	6
		下手賀沼中央	0.93	5.0	年2回		8
高滝ダム	高滝ダム貯水池	加茂橋下流部	0.085	4.7	年1回	市原市	10
		小佐貫橋下流部	0.056	—	年1回		12
亀山ダム	亀山ダム貯水池	堤体直上流部	0.068	—	年2回	県	13
		亀山大橋	0.066	—	年2回		15
湖沼平均値			0.31	12			
4水域		10地点	10地点	4地点			

## (3)海域

単位：水質 (pg-TEQ/L)、底質 (pg-TEQ/g)

	水域名	調査地点名	水質	底質	水質調査日数	調査主体	番号
東京湾内湾	千葉港 (甲)	千葉1	0.095	12	年1回	千葉市	千1
		千葉2	0.051	7.5	年1回		千2
		千葉3	0.056	38	年1回		千3
	千葉港 (乙)	東京湾6	0.075	—	年1回	県	東6
		東京湾9	0.063	100	年1回	県	東9
	東京湾(3)	船橋1	0.079	9.5	年1回	船橋市	船1
	東京湾(9)	東京湾1	0.061	8.3	年1回	県	東1
		千葉4	0.049	1.4	年1回	千葉市	千4
	東京湾(12)	東京湾10	0.13	35	年1回		東10
		東京湾A	—	8.1	年2回		東A
東京湾(16)	東京湾14	0.076	—	年1回		東14	
東京湾内房	東京湾(17)	東京湾24	0.047	—	年1回	県	東24
九十九里	九十九里	太平洋3	0.061	—	年1回		太3
南房総	南房総	太平洋9	0.067	0.27	年1回		太9
海域平均値			0.070	22			
9水域		14地点	13地点	10地点			

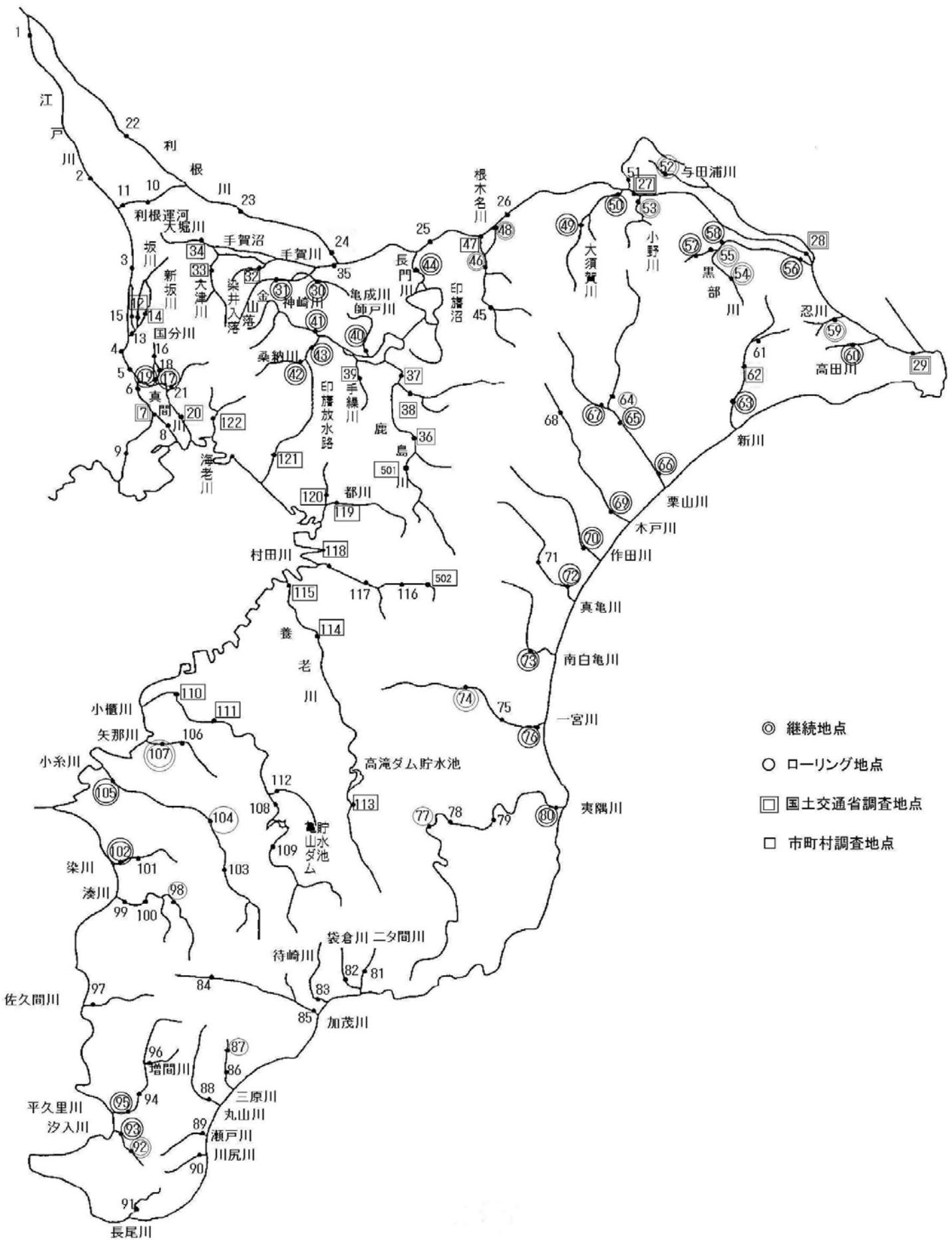
注：番号は調査地点番号である。

(4) 河川・湖沼・海域の平均

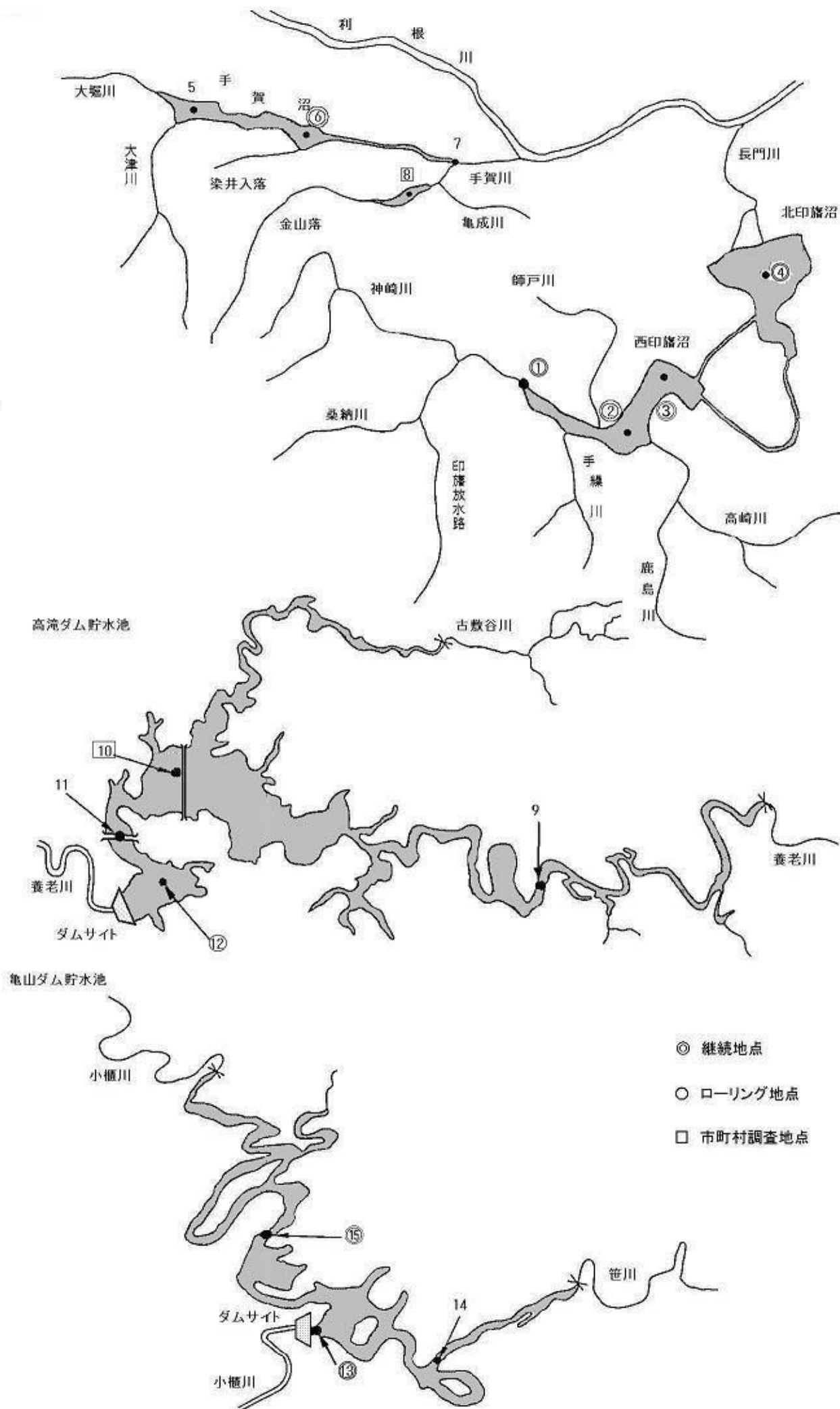
単位：水質 (pg-TEQ/L)、底質 (pg-TEQ/g)

	水質	底質
年間平均値最大	1.0	100
年間平均値最小	0.028	0.11
全地点平均値	0.26	8.6
環境基準 (年間平均値)	1	150

別図-2 ダイオキシン類公共用水域水質調査地点図(河川)

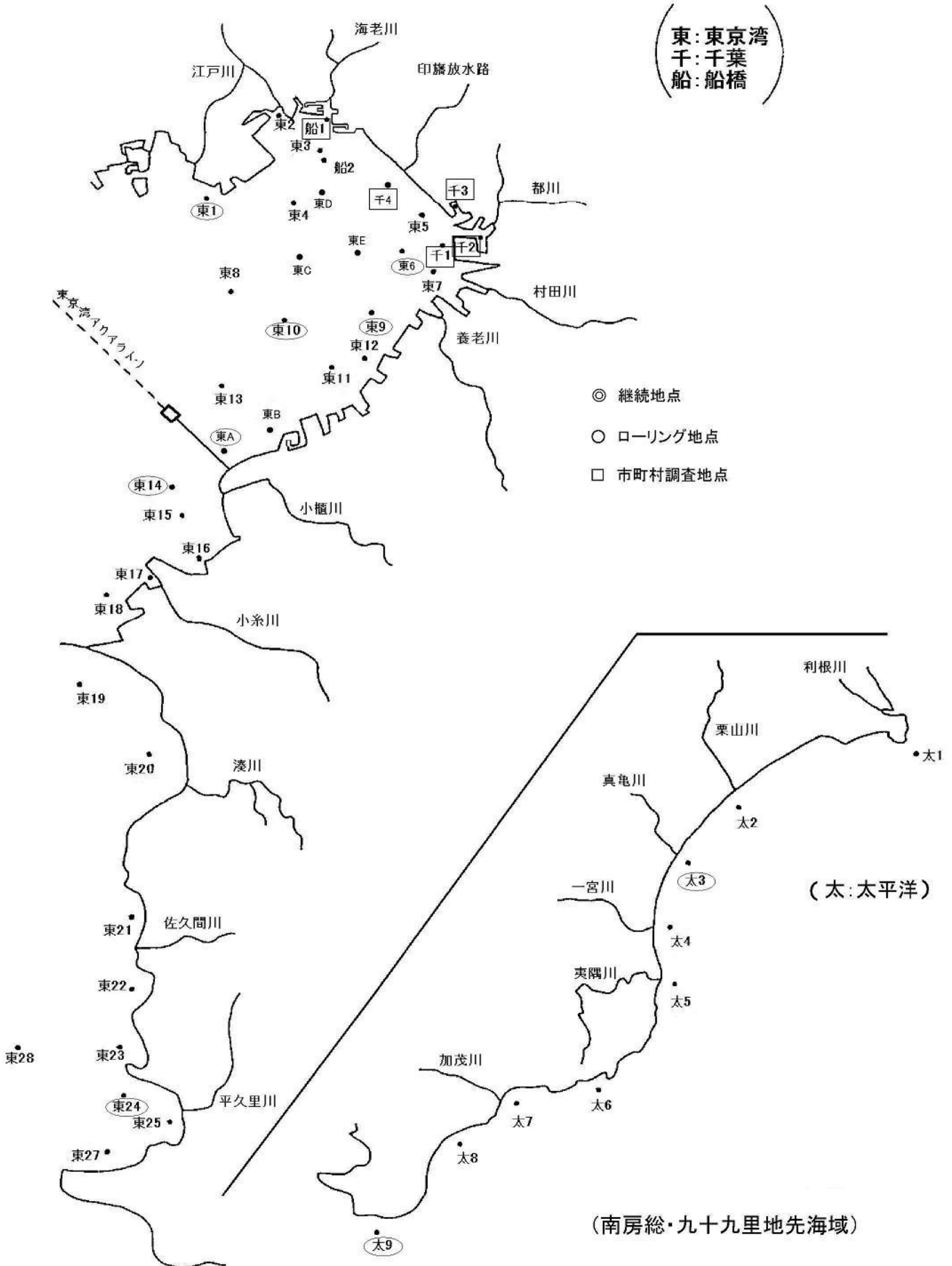


別図-2 ダイオキシン類公共用水域水質調査地点図(湖沼)



# 別図-2 ダイオキシン類公共用水域水質測定地点図(海域)

(東京湾内湾・内房海域)



### 3 平成20年度ダイオキシン類に係る地下水質調査結果について

#### (1) 調査方法

##### ア. 調査地点及び調査実施主体

県内の12市4町の26地点において、県及び千葉市、船橋市、柏市、松戸市、成田市、印西市がそれぞれ実施した。(別図3のとおり)

##### イ. 調査日

次の期間内の各調査日(1日)に試料を採取した。

平成20年9月24日～平成21年1月27日

##### ウ. 測定分析方法

JIS K 0312 (2005) に準拠した。

#### (2) 調査結果

26地点のダイオキシン類濃度は、0.046pg-TEQ/L～0.21pg-TEQ/Lの範囲にあり、環境基準(1pg-TEQ/L)を下回っていた。(別表3のとおり)

また、26地点のダイオキシン類濃度の平均値は、0.062pg-TEQ/Lであった。

なお、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準を超過した地点はなかった。

#### (3) 今後の調査計画

平成21年度については、市町村と協力し12市3町1村の23地点で調査を実施する。

別表3 平成20年度ダイオキシン類に係る地下水質調査結果

単位:pg-TEQ/L

実施主体	地点No.	調査地点	調査結果
千葉県	1	銚子市松岸町2丁目	0.046
	2	市川市大町	0.053
	3	成田市水の上	0.046
	4	勝浦市串浜	0.059
	5	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷8丁目	0.046
	6	袖ヶ浦市神納	0.051
	7	南房総市久枝	0.046
	8	酒々井町墨	0.046
	9	多古町喜多	0.058
	10	横芝光町小堤	0.046
	11	長柄町桜谷	0.058
千葉市	12	千葉市中央区仁戸名町	0.046
	13	千葉市花見川区長作町	0.046
	14	千葉市稲毛区轟町	0.046
	15	千葉市若葉区みつわ台	0.046
	16	千葉市緑区古市場町	0.047
	17	千葉市美浜区高浜	0.057
船橋市	18	船橋市習志野台	0.062
柏市	19	柏市豊四季	0.075
	20	柏市柏	0.075
松戸市	21	松戸市仲井町	0.067
	22	松戸市千駄堀	0.067
成田市	23	成田市水掛	0.068
	24	成田市津富浦	0.069
	25	成田市小菅	0.067
印西市	26	印西市武西学園台2丁目	0.21
		平均値	0.062



別図3 平成20年度 ダイオキシン類地下水質調査地点図



## 4 平成20年度ダイオキシン類に係る土壌調査結果について

### (1) 調査方法

#### ア. 調査地点及び調査実施主体

県内の17市2町の47地点において、県及び千葉市、船橋市、柏市、市川市、成田市、旭市、習志野市、八千代市、印西市、匝瑳市がそれぞれ実施した。

(別図4のとおり)

#### イ. 調査日

次の期間内の各調査日(1日)に試料を採取した。

平成20年7月25日～平成21年1月27日

#### ウ. 測定分析方法

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」(環境省水・大気環境局土壌環境課 平成20年3月)に準拠した。

### (2) 調査結果

47地点のダイオキシン類濃度は、0.035～18pg-TEQ/gの範囲にあり、環境基準(1000pg-TEQ/g)及び追加調査の目安となる指標値(250pg-TEQ/g)を下回っていた。  
(別表4のとおり)

また、47地点のダイオキシン類濃度の平均値は、3.1pg-TEQ/gであった。

なお、常時監視を開始した平成12年度以降、環境基準を超過した地点はなかった。

### (3) 今後の調査計画

平成21年度については、市町村と協力し14市4町の36地点で調査を実施する。

別表4 平成20年度ダイオキシン類に係る土壌調査結果

単位: pg-TEQ/g

実施主体	調査区分	地点No.	調査地点	調査結果
千葉県	一般環境	1	市川市菅野終末処理場	7.0
	一般環境	2	松戸市小金原公園	1.8
	一般環境	3	茂原市富士見公園	6.5
	一般環境	4	成田市立滑河小学校	0.042
	一般環境	5	成田市立大須賀小学校	0.54
	一般環境	6	東金市東公園	0.50
	一般環境	7	旭市コミュニティ広場	1.5
	一般環境	8	八千代市八千代台第一公園	4.8
	一般環境	9	八街市立八街南中学校	0.095
	一般環境	10	富里市中央公園	4.2
	一般環境	11	南房総市立岩井小学校	0.76
	一般環境	12	山武市個人所有地	18
	一般環境	13	山武市個人所有地	2.6
	一般環境	14	いすみ市立千町保育所	0.45
	一般環境	15	多古町多目的広場	0.36
	一般環境	16	鋸南町保田神社境内	1.8
	発生源周辺	17	市川市原木公園	5.0
	発生源周辺	18	松戸市真言宗金蔵院	12
	発生源周辺	19	茂原市三ヶ谷児童遊園(八坂神社)	7.8
	発生源周辺	20	東金市東京電力(株)鉄塔下(新袖ヶ浦線81番)	12
	発生源周辺	21	旭市スポーツ広場	0.13
	発生源周辺	22	八千代市農業研修センター	6.8
	発生源周辺	23	八街市スポーツプラザ	6.2
	発生源周辺	24	山武市金尾共同利用施設	0.36
	発生源周辺	25	社会福祉法人 槇の里 いすみ学園	3.8
	発生源周辺	26	多古町立多古第二小学校	3.1
千葉市	一般環境	27	千葉市中央区亥鼻	1.2
	一般環境	28	千葉市花見川区さつきが丘	2.8
	一般環境	29	千葉市稲毛区小仲台	0.085
	一般環境	30	千葉市若葉区千城台東	0.73
	一般環境	31	千葉市緑区おゆみ野	3.9
	一般環境	32	千葉市美浜区高洲	2.0
船橋市	一般環境	33	船橋市立薬円台小学校	4.8
柏市	一般環境	34	柏市立田中小学校	3.2
	一般環境	35	柏市立酒井根西小学校	0.13
市川市	一般環境	36	市川市立大柏小学校	0.053
成田市	一般環境	37	成田市土室	0.65
	一般環境	38	成田市南羽鳥	0.65
	一般環境	39	成田市名木	0.035
旭市	一般環境	40	旭市中央児童公園	0.18
習志野市	一般環境	41	習志野市袖ヶ浦西近隣公園	3.1
八千代市	一般環境	42	八千代市立睦北保育園	1.4
	一般環境	43	八千代市勝田台第7公園	2.2
	一般環境	44	八千代市大野台第2児童公園	2.7
印西市	一般環境	45	印西市大塚一丁目	6.6
匝瑳市	一般環境	46	匝瑳市椿海公園	0.70
	一般環境	47	匝瑳市のさかふれあいスポーツランド	2.1
平均値				3.1

別図4 平成20年度 ダイオキシン類土壤調査地点図

